

良い年になるよう願いを込めて ヨイシヨ!



新春対談

大崎市古川地域出身でボクシング5階級制覇を果たした、おおさき宝大使の藤岡奈穂子さんと伊藤市長が、大崎市との絆や夢について、語り合いました。



現役生活を振り返って

市長 新しい年を迎えました。藤岡さんは、昨年にボクシング選手としての現役生活を終えましたね。24年も続けるとは、思いませんでしたか。

藤岡 思いませんでしたね。

市長 24年間頑張れたのはどうしてですか。

藤岡 元々、プロになるつもりはなかったのですが、上京して頑張ってやっていたらチャンピオンになることができ、だんだん東京に住んでいる宮城県出身の方たちになり知ってもらえるようになりました。そこから応援の輪が広がっていき、ボクシングを通じてたくさんの方たちと出会って、応援していただき、それで続けることができましたのかなというのがありますね。

毎回、試合のたびに市長も応援に来てくださったり、とても力になりました。

市長 アマチュアからプロへの転向はかなりの決断だったと思いますが、迷いはありませんでしたか。

藤岡 どうなるか分からない

プロの世界に行くのは自分も不安でしたし、親も大反対でした。

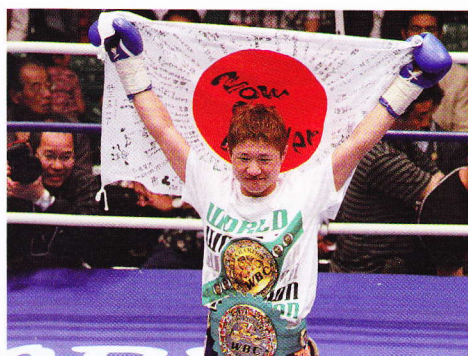
市長 当時、プロテストを受験できるのは32歳まででした。私は既に33歳でしたが、過去の戦績から特例でプロになれるチャンスを一度与えられました。やらなかったら後悔するのではないかと思います、チャレンジしたのが良かったです。

市長 プロ転向後は、トントン拍子で、試合に出場すれば勝ちましたよね。一つのタイトルを取るだけでも大変でしようけれども、5階級制覇まで達成できたのは、よほどの精神力や過酷なトレーニング、健康管理が伴ったと思いますが。

藤岡 当時、女子のプロボクシングは立ち上がったばかりでした。選手も少なく、対戦相手を探すのが大変でしたが、常に試行錯誤というか、この階級で戦って、というのを模索していました。

ボクシングそのものが好きで、もちろん試合のためにトレーニングも積んでいくんですけど、自分の伸びしろを埋めていく作業が好きだった

◀WBC女子ミニフライ級の世界チャンピオンに輝いた藤岡奈穂子さん(平成23年)



ので、あんまり苦しいという気持ちはなかったですね。

市長 平成23年の東日本大震災の年に、タイトルマッチで初の世界タイトルを獲得しましたよね。震災で皆さんの心が折れそうになったときに、タイトルを獲得して、ベルトを持って凱旋(がいせん)していただきました。慰問に訪れ、炊き出しなどにも参加していただき、皆さんに元気や勇気、夢を与えていただきました。

また、平成24年12月には、タイトルマッチを地元の大崎市でやっていたいただきました。市民の皆さんもなかなか生でボ



クシングを見る機会がなかったでしょうから、藤岡さんの雄姿を見ることができて、ボクシングにも親近感を持ったと思います。

藤岡 そういう機会をつくっていただいていたが良かったですね。

そもそも、世界チャンピオンになりたいとあんまり強く思っていないかったのですが、そのようなさなかに震災が起きて、皆さんが大変なときに自分ももうボクシングを辞めようかなと思ったこともありました。「今は藤岡さんの試合しか楽しみがないから頑張っ」て」という声を聞いて、初めて世界チャンピオンになりました。試合では、チャンピオンから2回ダウンを取ることができて、神がかり的な感じというか、不思議な感覚の試合でした。

やっぱり世界チャンピオンになるというのはいすごい意味があるんだなって思いましたね。地元の皆さんの前で最高の試合ができて良かったです。

これからの歩み・子どもたちへ送るアドバイス

市長 プロボクシングからの卒業ということですが、人生ではまだまだ半分です。次のステージではどのようなことを計画していますか。

藤岡 既に始めているボクシングのパーソナルトレーナーとしての活動をもっと大きくしていきたいですね。

あとは、ミットを持って世界中を回って、子どもたちだったり、女性たちがボクシングをする場を作っているいろいろな人に教えてみたいですね。いずれは地元の大崎で、子どもたち向けのイベントだったりそういう場所を作ってみたいですね。自分で大会も作ってみたいです。

市長 大崎の子どもたちに託したい夢はありますか。

藤岡 現代の子どもたちは、大人といえますか、おとなし



い印象があるので、もっと自分の殻を破って、好きなことを追及してほしいですね。大崎を出たからこそ大崎の良さが再確認できたので、東京でも海外でもいいので、一度外に出て、いろいろなものを見て、また大崎市を見てほしいと思います。

大崎市との絆

市長 「おおさき宝大使」として、故郷・大崎市の印象はどうですか。エールを送りたいことはありますか。

藤岡 世界農業遺産に認定されていますし、大崎の田んぼは誇りですよ。大崎に帰ってきて田んぼを見ると心が落ち着きますし、安心します。

食べ物もすごくおいしいので、テレビなどでも放送されるようになってきました。

たくさんの方に知ってほしいですね。

おおさき宝大使の我々も含めて、機会があるたびに特産品を持ってPRしたいですね。ぜひ、J-R陸羽東線にも頑張っていたきたいです。

市長 陸羽東線を残すべく、危機感を持ってさまざまな取り組みを行っているところで

令和6年の目標

市長 最後に今年の目標をお聞かせください。

藤岡 今、ウクライナやパレスチナ自治区、他の地域でも

悲惨なことが起きて大変ですが、女性のボクシングジムがあるようなので、落ち着いたらそういう場所にも行ってみたいですね。

市長 子どもたちが夢を持ってスポーツができる環境を作っていかねければなりませんよ。

昨年五月、市役所の新庁舎が完成しました。今年は駐車場が整備され、たくさんの方々をお迎えできるようにいたします。藤岡さんがこれからますます羽ばたくように、私たちも大崎市を世界に、全国に発信していきたいと思えます。

藤岡奈穂子さんに特別感謝状が贈呈されました

令和5年11月23日、伊藤市長から藤岡奈穂子さんに特別感謝状が贈呈されました。

世界5階級制覇を果たし、プロボクシングの第一線で活躍しながら、青少年の健全育成や本市のPR活動などの社会貢献活動に取り組んだ功績は、市民に勇気と感動を与えました。

藤岡さん、24年間お疲れ様でした。



大崎市公式SNS発信中です！

エックス ツイッター フェイスブック インスタグラム
 市公式 X (旧Twitter)・Facebook・Instagramは、
 行政情報だけではなく、観光やイベント情報も盛り
 込み、充実した情報をお届けします。二次元コード
 から、登録をお願いします。



X (旧Twitter)

図書館の情報
 を発信⇒



男女共同参画相談室 With おおさき
 の情報を発信↓



Facebook



Instagram



☎ 秘書広報課広報広聴担当 ☎23-5023

今月の紙

令和5年12月10日、古川地域の清滝地区
 公民館で、「親子ふれあいフェスティバル」が
 開催されました。

この催しは、清滝地区子供会育成会が主催し、地
 区の中학생以下の子どもたちとその保護者が、しめ縄作
 り体験と餅つき大会を行う地区の恒例行事です。昔なが
 らのしめ縄作りを子どもたちに伝えるとともに、親子の
 絆や世代間交流を深めることを目的に開催しています。

しめ縄作り体験では、参加した親子の皆さんが、講師役
 を務めた清滝長寿クラブ会員の皆さんからしめ縄の作り
 方の手ほどきを受け、煮干しや昆布と合わせながら稲わ
 らをなっていました。

その後の餅つき大会では、子どもたちが順番にきねを持
 って力強く餅をつき、つい
 た餅は雑煮やきなこ餅な
 どにして、おいしく食べま
 した。

みんなで作ったしめ縄は
 各家庭に飾って、新年を迎
 えします。



▲一生懸命しめ縄をなりました

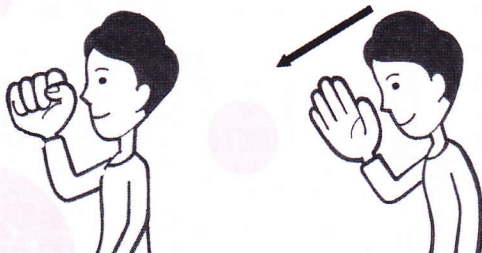
やってみっぺ みんなで手話！

手話を皆さんに知ってもらうため、あいさつの表現
 方法などを紹介します。手話は手指や体の動き、顔の
 表情を使って視覚的に表現する言語です。手話を使っ
 て、コミュニケーションの輪を広げてみませんか？

レッスン

Lesson2 「よろしくおはよう」 をやってみよう！

- ①こぶしを鼻の前に置く
- ②おじぎと同時に手を開きながら前に出す



◀市ウェブサイト

☎ 高齢障がい福祉課障がい福祉担当 ☎23-2167

広報おおさき1月号 2024 No.214

Main Contents

目次

- 02 新春対談
- 06 所得税・市県民税の申告相談
- 10 大崎市・東京都台東区
 姉妹都市提携40周年を迎えます
- 12 「大崎市デジタル市役所」をスタートします
- 13 CITY TOPICS
- 14 OSAKI Culture
- 15 オオサキプレイガイド
- くらしの情報
- 16 大崎市民病院経営強化プラン(中間案)に
 対する意見を募集します ほか
- 24 子育て支援情報 ほか
- 26 相談コーナー
- 27 休日救急当番医 ほか
- 28 Main Dish

大崎市(旧古川市)と東京都台東区は、東北新幹線の開通を機縁として昭和59年1月14日に姉妹都市を提携しました。

姉妹都市・台東区への理解を深め、交流の絆がさらに深くなるよう、令和6年度は、大崎市・台東区姉妹都市提携40周年記念式典をはじめ、さまざまな記念事業を展開する予定です。

大崎市と台東区のこれまでの主なあゆみ



▲大衛^{てるお}照夫 元古川市長(左)と
内山^{えいいち}榮一 元台東区長(右)

- 昭和57年6月
- 東北新幹線開業

- 昭和59年1月
 - 姉妹都市提携
- 旧古川市と東京都台東区との間で姉妹都市を提携【写真①②】

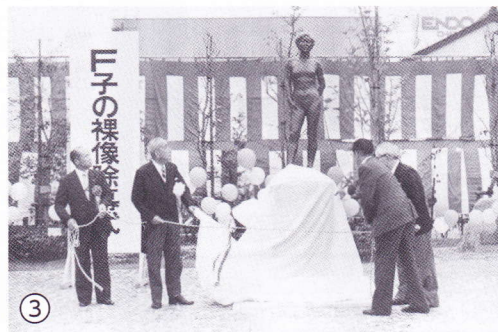
- 昭和59年3月
 - 古川市民号が台東区へ
- 古川市民が交流のため台東区を訪問

- 昭和61年5月
 - 交換植樹式
- 区木の「さくら」が旧古川市へ、市木の「いちよう」が台東区内の隅田公園に植樹

- 昭和62年7月
 - 「F子の裸像」寄贈
- 古川駅前一号公園完成時に姉妹都市提携記念として台東区から名誉区民・朝倉文夫氏作の「F子の裸像」が寄贈【写真③】



▲姉妹都市提携調印式



▲寄贈された「F子の裸像」を披露した除幕式

- 平成6年7月
 - 姉妹都市提携10周年記念式典、台東区民号が旧古川市へ
- 台東区民が交流のため旧古川市を訪問

- 平成9年4月
 - 古川市東京事務所開設
- 台東区上野に古川市東京事務所を開設

- 平成16年8月
 - 姉妹都市提携20周年記念
- 浅草サンバカーニバルが古川まつりに参加【写真④】

- 20周年記念交流会
- 上野夏まつりの見学と併せ、古川市民70人が交流のため台東区役所を訪問

- 平成16年12月
 - 20周年記念「花の影」寄贈
- 姉妹都市提携20周年記念として台東区から名誉区民・朝倉文夫氏作の「花の影」が寄贈【写真⑤】



▲古川まつりで披露された浅草サンバカーニバル



▲寄贈された「花の影」を披露した除幕式

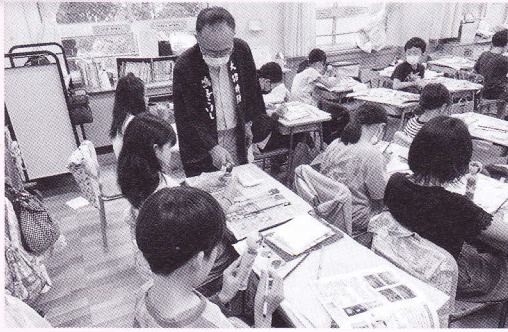
大崎市・東京都台東区 姉妹都市提携 40周年を迎えます

☎ 観光交流課交流担当 7097

昭和

平成

令和5年度に実施した 主な交流事業



▲台東区の小学生を対象にした鳴子こけし絵付け体験(令和5年6月)

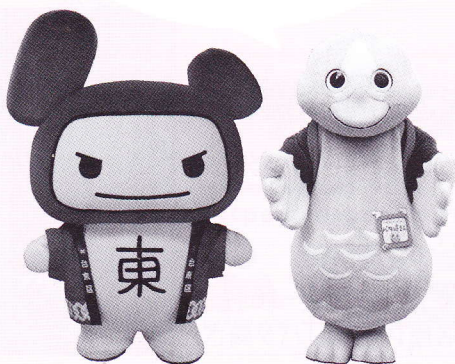


▲大崎市から台東区への給食用新米贈呈(令和5年11月)

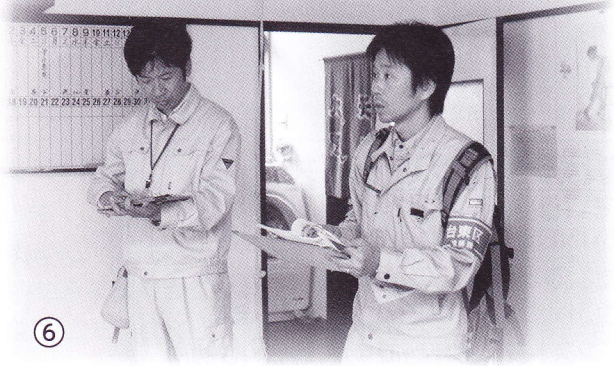
- ▶ 大崎市で少年少女スポーツ交流大会の開催
- ▶ ふるかわ花火大会(台東区のPR実施)
- ▶ 古川まつりおよび全国こけし祭りでの「江戸下町職人展」の開催
- ▶ おおさき生きものクラブ10周年記念フォーラムへの参加
- ▶ 大崎市から台東区立平成小学校へ田植え体験用の苗の提供
- ▶ 相互の文化・観光施設利用時の割引事業
- ▶ 大崎市祥雲閣寄席
- ▶ 各種イベントでの物産品販売

これからもいろいろな事業を通じて、交流を図っていくよ!

台東区観光PRキャラクター「台東くん」



大崎市公式キャラクター「パタ崎さん」



⑥

▲市内の住宅を回り、被災状況を調査した台東区の職員(右)

平成23年3月

● 震災に関する支援

東日本大震災に関して、台東区から救援物資・人材派遣などの支援【写真⑥】

平成26年3月

● 姉妹都市提携30周年記念式典

台東区から30人を招き、総勢110人による記念式典開催

平成26年8月

● 30周年記念たいとう音頭ダンスコンテスト開催

おおさき古川まつりで予選を勝ち抜いたチームが台東区で開催された本選に出場

平成27年7月

● 震災に関する義援金贈呈

東日本大震災以降、継続して台東区から東日本大震災の義援金(5回目)、こいのぼり寄せ書きが贈呈

平成

令和4年4月、8月

● 支援金贈呈

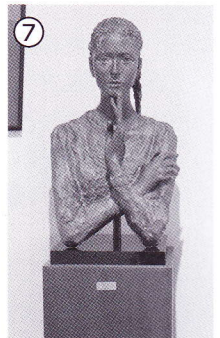
台東区から令和4年3月16日の福島県沖を震源とする地震被害および令和4年7月15日からの大雨に係る災害に対する支援金が贈呈

令和

令和5年5月

● 大崎市役所新庁舎開庁記念「シェリー」寄贈

新庁舎開庁を記念し、朝倉文夫氏の娘・朝倉響子氏作の「シェリー」が寄贈【写真⑦】



⑦

▶ 寄贈された「シェリー」

● 姉妹都市提携40周年を記念してパネルを展示します

台東区との交流の軌跡や台東区を紹介するパネルを展示します。ぜひ、この機会に姉妹都市台東区との交流の歴史と魅力あふれる台東区の観光・文化に触れ、絆を感じてみませんか。

期間 1月10日(水)~29日(月)

場所 市役所本庁舎1階屋内広場「パタ崎さん家」





おおさきの Main Dish
「岩出山満喫セット」
凍み豆腐の天ぷらがトッピングされたそばに焼きおにぎり、地元で作られたみそを使用したみそ田楽、揚げ酒まんじゅうがセットになった豪華な一品。(税込み1,100円)

はなやまたう えもん
花山太右衛門商店バイパス店
大崎市岩出山下野目字長田17 ☎72-2988
定休日:火曜日
営業時間:10時30分~17時
店主から一言
趣のある古民家でほっと一息つきませんか。岩出山地域の名物をゆっくり味わってください。

chida 地球にやさしい 環境クリエーター

- 一般廃棄物(し尿、浄化槽汚泥)収集運搬
- 産業廃棄物収集運搬
- 浄化槽保守点検業
- 浄化槽工事業
- 廃食油リサイクル事業(バイオディーゼル燃料)

有限会社 千田環境ホールディングス
有限会社 千田清掃 代表取締役 千田 信良
〒989-6254 宮城県大崎市古川狐塚字西田77番地
☎0229-27-3151(代) FAX0229-27-3155

web: https://www.city.osaki.miyagi.jp/
e-mail: hisho@city.osaki.miyagi.jp

「少し変だな」「いつもとちがうと感じた時」
お一人で悩まずお気軽に当院にご相談ください。血圧や血糖、コレステロールが高いなどの内科治療もいたします。

もの忘れ外来
完全予約制
☎(0229)22-4508

月曜日・火曜日 (第2・4週)	8:30~15:30
木曜日 (新患)	13:30~15:30

内科・神経内科・心療内科・精神科・人工透析
医療法人社団 清靖会
PFC HOSPITAL
PATIENT FAMILY CENTERED CARE
〒989-6142 大崎市古川中島町1番8号
☎0229-22-1608(代表)

看護師募集中 (看護師・看護助手)

第一・第二透析室 24床 / 外来透析 無料送迎あり